

## 5章. 人生の幸福とは

この課では、「経済的な豊かさ」と「人生の幸福」の関係について考えていきます。私たちの人生は経済的に豊かであれば、それで幸せなのでしょうか？聖書から考えていきましょう。

### ルカの福音書19:1-10を読みましょう

キリストの時代、イスラエルはローマ帝国に支配されていました。取税人というのは、イスラエル人でありながらローマに協力して、同胞から税を取り立てた人々のことです。多くの場合、必要以上の税を取り立て、ローマに渡す以外のお金を自分たちで着服し、金持ちになりました。このようにして、取税人たちはその不正直さとローマに協力したという理由で、イスラエル人から嫌われていました。

「人の子」（10節）とは、イエス様を指します。アブラハム（9節）は、旧約聖書に登場する神の民として選ばれたイスラエル人の先祖でした。「アブラハムの子」とは、神が愛し、救おうとしておられる人なのです。

1. 登場人物と場所(舞台)は？
2. ザアカイについて、どんなことが分かりますか？（1-3節）
3. ザアカイは、なぜイエス様に会いたかったのでしょうか？
4. ザアカイは経済的に成功を収めていましたが、彼の中に何か満たされないものがありました。それは何だったのでしょうか？あなたも同じような体験をしたことがありますか？
5. 5節にイエス様がザアカイに語ったことばがあります。このことばからイエス様について、どんなことが分かりますか？
  - ・ザアカイ：初対面なのに名前を知っていた
  - ・固有名詞：「木に登っている人」と呼ぶのではなく「ザアカイ」と名指しで呼んでいる
  - ・泊まる：ザアカイは嬉しかった。イエス様は自分の心を知っている。
  - ・マタイ10:28-31を読みましょう。

あなたの感想を教えてください。

6. ザアカイはイエス様を大喜びで迎えました(6節)。ザアカイは自分の救い主としてイエス様を信じ、心に迎えました。その結果変化がおきました。それはどんなことだったのでしょうか(8節)

7. ザアカイは、イエス様に会う前と後では、どのように変わりましたか。

|             | イエスに会う前 | イエスを迎えた後 |
|-------------|---------|----------|
| 心の中         | (3節)    | (6節)     |
| 社会に対しての役立ち方 | (2,7節)  | (8節)     |
| 正直さ         | (2節)    | (8節)     |
| 神との関係       | (10節)   | (10節)    |

8. イエス様に会ってからザアカイの生き方が変わりました。あなたも自分の中に変えられる必要を感じることがありますか？それはどんなことですか？

9. あなたは今まで「救い」ということばを、どんな意味で使っていましたか？イエス様を信じたザアカイの変化から考えるなら、「救い」とはどんな意味と言えるでしょうか？

10. あなたはザアカイのように人生を変え、イエス様の救いと愛を経験する必要を感じますか？

このザアカイの話には三つの教訓があります

- 1) お金は人を満ち足らせるものではない：ザアカイは沢山のお金を持っていたが幸福ではなかった。
- 2) イエス様はどんな人でも愛している：皆から蔑まれていたザアカイを心に留めて、なおその家に客として訪れ、彼を助けようとされた。今日でもイエス様の御霊は私たちの心に入り、住もうとしている。
- 3) ザアカイが経験した救い(9節)は、利益に預かるのではなく、新しい喜びと人格の調和に繋がるイエス様との交わりをいただくこと。

[さらに確信するために]

ヨハネの黙示録3:20、ローマ10:9-10